

# アクティブ サポート 京都

Active Support Kyoto

京都産業21のビジネス情報誌

06

Jun. 2004. No.009

<http://www.ki21.jp>

## CONTENTS

創援隊成功事例	1 ▶ 2
IT関連講習会及びセミナー	3 ▶ 4
「新京都ブランド」レポート①	5 ▶ 6
「新京都ブランド」レポート②	7 ▶ 8
中小企業総合展2004	9
産学公連携研究開発資金支援事業	10
設備貸与制度	11 ▶ 12
受発注コーナー	13
遊休機械設備コーナー	14
行事予定表	15

がんばる企業を支援します。

財団法人 京都産業21

Kyoto Industrial Support Organization 21

## 「創援隊交流会」成功事例

### 見えないものを見えるようにする (株)エックスレイプレジジョン

X線の性質を利用した新技術の開発、技術コンサルティングなどを行っている株式会社エックスレイプレジジョンは、平成15年度創援隊交流会でビジネスプランのプレゼンテーションを行い、最優秀ビジネスプラン企業に選ばれました。

株式会社エックスレイプレジジョンの取締役開発部長・細川好則氏に、経営マインドや創援隊での出会いについてお話を伺いました。

REPORT

#### ビジネススピリッツが共鳴する相手との出会いが、次の事業展開へとつながる



(株)エックスレイ プレジジョン  
取締役開発部長・細川好則氏

住 所 ●京都市左京区松ヶ崎御所海道町  
京都工芸繊維大学内 総合研究棟3F  
TEL ●075-724-7673  
FAX ●075-724-7673

#### 新技術で社会貢献を目指す

当社が開発した新技術は、新技術開発事業団（現科学技術振興機構）との共同研究によるものです。それをさらに進化させていきたいと思い、株式会社エックスレイプレジジョンを設立。研究開発にあたり、多方面からの技術開発助成金を受けながら開発を続けてきました。

新方式のプロセス用開発X線インライン計測装置を開発し、精密な電子部品などの精度検査をより簡単に正確に行えるシステムを作りました。

これはX線を利用した非破壊の分析装置です。

X線の特性を利用する、と一言でいっても、なかなかピンとくる方は少ないと思います。一般的に知られているX線利用は、レントゲン撮影など内部の状態を画像化し、医療分野などで役立てるといったものです。こうしたレントゲンなどで使われるX線は、広面に照射されます。

このほど開発した技術は、広面に照射されていたX線を細いビームに絞りこむことにより、検査物体の微小領域における元素組成や成分などを破壊せずに分析することを可能にしたものです。

この技術を利用することで、ICカード積層セラミックコンデンサー材料の不良を非破壊で検知することなどが可

能になります。製品の完成度の向上と、生産性の向上に大きく貢献できるのです。

こうした技術とビジネスプランを創援隊交流会で紹介いたしました。

#### ビジネスマインドが共鳴し合う相手との出会い

ベンチャービジネスという言葉は、成功・不成功に関してどこか「ギャンブル的な要素」を匂わせるので、むしろ「スモールビジネス」と呼びたいと思っています。まさに当社のようなスモールビジネスを展開している企業にとって、出会いはビジネスを左右する重要な要素です。

そもそもビジネスというものは、利益以外の価値観を持つことが必要だと思うのです。文化への寄与や地域社会への貢献に対して、どう感じ、どう考えているのか。そういった「商い」的な感性を大切にしたいと考えています。

またスモールビジネスにおいては、他の人と同じことをやっていたのでは認められません。常に新しい発想が求められます。例えば「速さ」に重点をおいている新幹線ですが、「季節の良い晴れた日に、富士山の見えるあたりで一時停車させてみる」。こんな発想を可能にさせる、そのような斬新な発想を支える技術力こそが、社会に認めもらうための必要条件だと思うのです。

感性や発想を磨くには目の前の成果に右往左往するの



自社開発製品：X線密度・厚さ面分布測定装置  
X-ray DT Scanner DDM+2101



創援隊の他にも数々の企業賞を受賞・表彰されています。



謝しております。

## 求め続ける企業でありたい

私のモットーは「求めていかなければ何も得られない」です。

創援隊での出会いをさらに広げるべく、ビジネスチャンス、共鳴しあえる相手、さまざまな価値観をこれからも求め続けていきます。

そして、スモールビジネス企業に対して無限の可能性を広げてくれる創援隊交流会に、今後も期待しています。

ではなく、必要な無駄を数多く経験することが大切だと考えています。

こういった価値観の合う相手と出会いたい、そういう思いはいつも持ち続けています。創援隊交流会への参加も、そうした出会いを求めたものでした。

## 多様なメンバー構成が創援隊の魅力

創援隊交流会に参加されている隊員は実に多様です。しかし、新しいビジネスプランに対して互いに支援し合いながら、社会貢献できる企業活動をしていこうという志のある人の集まりであることに、とても魅力を感じました。

当社はたまたま今回のプレゼンテーションで、自社内にはX線分野を持たないが、企業活動の中でそういった技術を導入したいと考えている企業に巡り会えました。

その結果、相手企業に最適なシステムをコーディネートするに至りました。コンサルタントとして他の企業と交流を深め、お互いの技術力を補う形で新たなシステムを開発していく。まさに当社が求めていたビジネス展開のできる相手と巡り会えたのです。

当社はラッキーだったとも言えます。しかし、開発に向かったときの当社の思いや情熱を真剣に受け止め、多くのアドバイスや支援を提供してもらえ環境が創援隊に存在したからこそ、そのラッキーを生み出したのだと感



## 創援隊とは

ベンチャー企業の創業や既存企業が第二創業を目指す際の隘路となっている販路開拓を中心に、ベンチャー等地元企業を幅広い観点からサポートしようとする団体です。

創援隊は、幕末の動乱期、坂本龍馬らが結成したスペシャリスト集団「海援隊」の進取の意気と意欲にならい、民間の活力を活かしたボランティアベースの応援団として組織化されました。

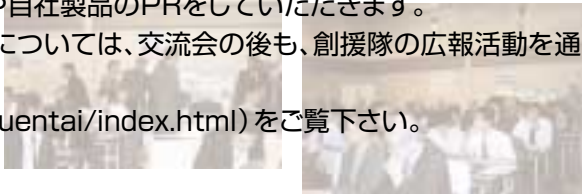
## 創援隊交流会

創援隊に販路開拓等のアドバイスや、支援を求めようとする企業は、京都を中心に、東京においても開催される交流会に御参加いただき、販売計画や自社製品のPRをしていただきます。

交流会に参加していただいたベンチャー企業等については、交流会の後も、創援隊の広報活動を通じて、支援を継続していきます。

詳細はホームページ (<http://www.ki21.jp/souentai/index.html>) をご覧下さい。

※交流会の参加は無料です。



## 平成16年度第2回交流会

●日 時：平成16年7月6日(火) 14時～17時

●会 場：ホテルセントノーム京都

【お申し込み・お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 新事業支援部 (小寺・泉)

TEL:075-315-8848 FAX:075-323-5211  
E-mail:shinjigyoko@ki21.jp

# 京都産業21が貴社のIT活用をお手伝いします!

(財)京都産業21では、府内企業さまのITリテラシー向上の一助となるべく、各種セミナー及び講演会を企画・開催しております。今回は下記の3つのセミナー・講習会を御案内申し上げます。皆様の御参加をお待ちしております。  
 ※なお、私共では、募集に際してお申しいただいたお客様の個人情報について、いかなる場合においてもお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

## ① 情報化プラザ

### 「企業における情報保護と管理～ISMSとPマーク認証について～」

昨今、企業の情報漏洩による事件が新聞各紙面を賑わせております。重大な社会的事件に発展してもおり、情報の保護及び管理は企業にとって重要性・関心共にも高まってきていると考えます。

そこで、今回の「情報化プラザ」では、企業情報に関するセキュリティとその管理の重要性及び、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)に関する事柄について、講演会を開催いたします。

日 時	平成16年7月2日(金) 14:00～16:00
会 場	京都府産業プラザ5階 研修室 <下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク東地区>
定 員	50名(申込先着順)
申込方法	件名に「第1回情報化プラザ」と明記の上、下記の要領で、FAXまたはe-mailでお申込下さい。 1「会社名」      2「参加者名」      3「所属部署」 4「e-mail」      5「TEL/FAX」      6「京都インターネット利用研究会の参加の有無」 FAXの場合…075-314-4720      e-mailの場合…suisin@mail.joho-kyoto.or.jp



(株)アール・エム・アイ  
主任コンサルタント 江崎 為丸 氏

### <講師プロフィール>

【履 歴】：同志社大学院 工業化学(高分子化学)卒業  
 昭和40年 株式会社クラレ入社  
 合成繊維、不織布、ホパール、人工皮革の生産、研究・開発、商品企画等に従事  
 平成13年 株式会社クラレ 嘱託、  
 株式会社アール・エム・アイ 主任コンサルタント  
 関西TLO株式会社 特許流通アソシエイト

【資 格】：ISO9001審査員補  
 ISO14001審査員補

### ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)

英国の国内規格「BS7799」を基に作成された評価制度。

「個別の問題ごとの技術対策の他に、組織のマネジメントとして自らのリスク評価により必要なセキュリティレベルを定め、プランを持ち、資源分配してシステムを運営すること」(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)

### Pマーク認証

プライバシー認証制度。JISQ15001に準拠した個人情報の取り扱いに関するコンプライアンスプログラムのこと。

### (財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)

URL <http://www.jipdec.jp/>

## ② IT講習会

企業事務に必要なスキル養成を目的としたパソコン講習会を行います。効果的かつ実践的なアプリケーションの使い方や、その考え方について学びます。

講習時間	10時～17時
受講資格	京都府内の中小企業等に勤務する方
定員	15名
申込方法	締切日(各講座5日前)までに、下記の要領で、FAXまたはe-mailでお申込下さい。 1「希望されるコース名」 2「会社名」 3「参加者名」 4「所属部署」 5「e-mail」 6「TEL/FAX」 7「KIIC交流会、京都インターネット利用研究会の参加の有無」 FAXの場合…075-314-4720 e-mailの場合…suisin@mail.joho-kyoto.or.jp

No.	コース名	開催日	受講料	会 員	難易度
1	PowerPointコース(1日間)	7月16日	5,000円	2,500円	★★★
2	画像処理初級コース(1日間)	7月29日	5,000円	2,500円	★★
3	PhotoShopコース(1日間)	7月30日	5,000円	2,500円	★★★
4	ホームページ作成コース(3日間)	8月4・5・6日	13,000円	10,000円	★～★★★★
5	Excel応用コース(1日間)	9月1日	5,000円	2,500円	★★★
6	Excelビジネス活用コース(2日間)	9月2・3日	12,000円	9,000円	★★★★★
7	Access初級コース(2日間)	9月30日・10月1日	10,000円	7,000円	★★★
8	Access応用コース(2日間)	10月14・15日	10,000円	7,000円	★★★★★
9	Accessビジネス活用コース(2日間)	11月11・12日	12,000円	9,000円	★★★★★

※コースの難易度は★1つから5つであらわしています。★の数が多いほど高難易度です。

※受講料にはテキスト代を含みます。

※受講者が5名に満たない場合は開催しないことがあります。ご了承下さい。

KIIC交流会及び、京都インターネット利用研究会の会員につきましては、受講料の一部を各会より補助いたします。  
お問い合わせ先：各会事務局 TEL:075-315-8677

## ③ IT活用山登りツアー「1合目突破セミナー」

現在、販売管理などのシステムを使っている方の中で、コンピュータを「電卓の親分」とっておられる方はいませんか？ 実は、ITは単なる業務の効率化だけでなく、「顧客満足度向上」や「リードタイム短縮」など、企業の売上や利益向上に寄与できるものなのです。つまり、業務効率化によるコスト削減だけがIT活用ではないのです。

今回、IT活用を「山登り」に例えて1合目から山頂までトータル的にご案内することになりました。まずは1合目を突破するための「儲かる仕組みづくり」の作り方を、セミナーを通じて学びます。

この機会にぜひ、ご参加頂き自社の儲かるIT活用を考え実行してください。

※ホームページではツアー(セミナー)の内容を詳しく説明しています。 <http://www.ki21.jp>

日 時	セミナー日程(全5回) 第1回 平成16年7月3日(土) ・ 第2回 平成16年7月17日(土) ・ 第3回 平成16年7月31日(土) 第4回 平成16年8月21日(土) ・ 第5回 平成16年9月4日(土) ※時間は各回13時～16時
集合場所	(財)京都産業21 会議室(KRP 京都府産業プラザ2F) JR嵯峨野線 丹波口駅 徒歩5分
講 師	ツアーガイド 坂田 岳史 氏(有限会社ダイコンサルティング代表) URL: <a href="http://www.daiconn.co.jp">http://www.daiconn.co.jp</a>
参加費	1社につき 30,000円(KIIC会員特別価格 20,000円)

【お申し込み・  
お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産業情報部(魚島・原田)

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業プラザ内  
TEL:075-315-8677 E-mail:info@ki21.jp

# 縦横無尽な活動と 本物の仲間づくりで、元気満々!

## レポート① 京都機械金属中小企業青年連絡会

今、機械金属業界は「京都」というブランド力で非常に活気づいています。そうした中、京都機械金属中小企業青年連絡会は、第23代代表幹事に(有)飛永製作所の飛永敏博氏が就任。新代表幹事を中心に、新体制を整えました。

23年間培ってきた機青連スピリッツを、どのように深め、活動を展開していかれるのか、新幹事の方々に伺いました。

京都機械金属中小企業青年連絡会(通称KISEIREN・キセイレン)の歴史は、今から23年前、若手経営者たちのグループが誕生したときに遡ります。

昭和55年夏、財団法人京都府中小企業振興公社の若手職員の呼びかけで、小さな町工場の30代の若手経営者7人が集まり、お互いに刺激あう中で経営者としての資質を高めていこうという趣旨の元に結成された、小さなグループがおこります。



現在、機青連の会員は74名。それぞれに経営者として、また次期経営者として企業運営、技術向上、人材育成と多くの課題を抱えながら活動をしています。

機青連の魅力は、「ざっくばらんな意見交換」と「層の厚さ」にあります。

たとえば、各会員の会社を訪問し、率直な意見を出し合うという「会社訪問」を行っていますが、中には耳の痛い指摘もあります。また逆に自分では当たり前になりすぎ



代表幹事 飛永敏博氏

て見過ごしてきた点を評価してもらうこともあります。こうした忌憚のない意見を互いに出し合い、認め合うことで、次の成長への原動力を得ています。



副代表幹事 近藤俊行氏

また上は60代から若手は20代という「層の厚さ」は、経営者として、あるいは人間としての成長の大きな助けになっています。

経営者として成長する過程で、みな同じようなところで悩み、壁にぶつかります。それらを乗り越えてきた先輩が、今悩んでいる後輩・仲間に気軽にアドバイスをしてくれる環境。それは心強くもあり、目標にもなります。



副代表幹事 辻智之氏

経営方針について、あるいは技術開発など、本来なら企業秘密にしておきたい事でも会員同士が情報交換し、互いの成長のために協力し合う。これが機青連スピリッツなのです。

こうした機青連の歩みの中で、今年新体制を組み、年間テーマとして「縦横無尽～本物の仲間づくり～」を掲げました。

一般的には横の繋がりを基本とした仲間づくりに加え、機青連としての後継者の育成、さらには次期経営者としての資質の向上を、互いに目指すための活動の拡充を図



会計 高木正司氏

りたいと考えています。

たとえば、産学公連携による事業創出の一環として、様々な地域産業、大学、研究機関などとの研究開発も課題になります。

世代を越えた会員層を十分に活用し、多様な意見の吸い上げをしていきたいと考えています。とくに若手会員からの意見に注目し、斬新な視点での活動展開も考えています。

また、各自の企業活動の中心でもある**ものづくり**においては、以前から取り組んできた「夢銚」「五重塔」など、具体的な制作活動を通して互いに競い合い、学び合う機会を作ること、技術情報の交換・向上を図りたいと考えています。

こうした会員同士の深い人づきあいの中で、機青連が縦横にネットワークを広げ、成長し、ひいては機青連のみならず、多彩な「新京都ブランド」の活性化をめざしています。

『育とう・育てよう・育ち合おう』。これが機青連スピリット

の根本です。この精神を次の世代へと繋げていくこと、次の世代を育てていくこと、学び合える環境を広げていくことが、代表はじめ、新幹事の役目だと考えています。



機青連という若手経営者、次期経営者の団体であり、ものづくりのプロたちが23年間のなかで行ってきたのは、互いに成長しあえる環境作り、仲間づくりでした。

「新京都ブランド」にこだわったものづくりと本物の仲間同士の連携を目指している機青連のこれからの活躍が期待されます。

## KISEIREN活動の記録

### 機青連「夢銚」制作でアピール



会員の中から「銚レンジャー」を結成。機青連「夢銚」を制作しました。第1回ケータイ国際フォーラムに出展し、ものづくりへのこだわりと活動をアピールしました。

### 鳥インフルエンザの影響回復に一役

5月5日、京都府主催により丹波町で開催された「とり・たまごフェアin丹波」へ参加しました。自作の回転焼き機を持ち込み、回転焼きの店を出店。突然の参加決定にもかかわらず、フェアの盛り上げ役として大いに活躍しました。



【お問い合わせ先】

京都機械金属中小企業青年連絡会（事務局）

TEL:075-933-2520 FAX:075-933-2611  
http://www.kiseiren.com/

# 共同受注体制づくりに向けて、 新体制スタート!

## レポート② 京都府電子機器工業会

京都府電子機器工業会は昭和60年の発足以来、地域産業の電子機器グループとして活動してきました。そして18年続いた活動を、新たな展開へと飛躍させるため、新代表・福島文雄氏を中心に、組織の再構築に向け動き出しました。前代表の青木氏、新代表の福島氏の今後の展望を伺いました。

京都府電子機器工業会は、プリント基板実装、組立配線、部品加工、各種自動機器、測定機器、電子応用装置等の設計・製作をはじめ、部品、機材、補助材料の卸販売等に携わる企業36社の集まりです。



前代表 青木孝治氏

年に一度の総会をはじめ、2ヵ月に一度、定例会を開催。技術研修、会員間の相互情報交換など、お互いが競い合い、学びあえる環境のもと、さまざまな活動を企画しています。経営向上研修会、海外視察研修などを開き、魅力ある企業への活性化には、特に力を注いできました。

京都府電子機器工業会の特徴は、会員企業それぞれの個性。つまり幅広い分野で各々の特徴を持つ企業が、大企業にはないフットワークの軽さ、丁寧・緻密な仕事を得意とし、多岐にわたる注文にも対応できる技術力の高さにあります。

発足当時から、高い技術力と個性を活かし、会員個々の企業活動を軸に、活動を展開してきました。

しかしながら、18年を経た現在、電子機器工業界においては、多様なニーズへの対応を強く求められるようになりました。会員企業同士が刺激しあい、意見をぶつけあえる仲間作り、共同開発・制作に対応できる仲間づくりの必要性を実感しております。そして、こうした時代の変化



と共に、京都府電子機器工業会としても、会員企業の個性が十分に発揮できる体制づくりを迫られております。

今年度、福島代表の就任を機に、役員が中心となり、組織内の再構築を図りたいと考えております。

まず、会員企業内を「電子機器開発・設計・製造」「基板実装・組立」「機械・工具販売」「機械配線・ハーネス加工」といったグループにわけ、互いの交流の活性化を図ります。

そして、それぞれが必要とする研修テーマをまとめ、グループごとの研修会なども積極的に企画していきます。

さらに、忌憚のない意見交換、情報交換のできる人間関係づくりを最重要課題とし、さまざまな形態の小グループづくりも進めてまいります。

こうした基礎の上に、京都府電子機器工業会がひとつの大きな器となり、共同受注に向けた体制を確実に整えていきます。

本年度は特に、ビジネス交流フェアなどさまざまなイベントへの参加をはじめ、異業種グループや他団体との交流を持ち、幅広い情報交換・技術研修会・人材育成に取り組み、最新技術の習得、活性化を図ります。

また地域産業・大学・研究機関への積極的な働きかけをし、共同開発・共同製作への取り組みも図っていきます。

共同受注での成功例を得るため、会員企業、一丸となって京都府電子機器工業会の生産体制づくりを進めて参ります。そのため、京都府の各地域から幅広い分野で活躍しておられる企業様の入会を募っております。ぜひ、共に学びあい、成長しあいながら共同受注体制を構築していかうと思いの方のご参加をお待ちしております。

時代の変化を読み、組織の再構築を進める京都府電子機器工業会。共同受注体制づくりに、大きな期待が寄せられています。



新代表 福島文雄氏





## 活動概要

- 1.魅力ある企業への活性化  
(経営向上研修会、会員企業訪問、海外視察研修)
- 2.ニーズの多様化への融合化による対応
- 3.生産技術向上と人材育成  
(鉛フリー対策・実装技術研修会など)
- 4.共同受注



## 会員名簿

### 電子機器開発・設計・製造

アール・エス・ティエンジニアリング株式会社	075-501-5501
アイエイチ株式会社	075-693-1152
株式会社イー・ピー・アイ	075-934-3111
有限会社エムディアール	0774-44-3141
株式会社旺辰電工	075-924-5551
木下電子工業株式会社	075-951-1111
株式会社京光製作所	0774-22-3285
グローバルテック株式会社	075-933-6021
有限会社スコークエンジニアリング	075-711-9406
双和電機株式会社	075-622-3330
有限会社光電子設計	0774-75-2020
ヒコニー研究所	075-954-2919
株式会社富士製作所	0774-63-4325
藤田電子製作所	0774-88-2560
株式会社フナイ電子研究所	0771-62-3156
有限会社マヤベスト	0771-75-1622
和晃技研株式会社	075-681-6291

### 基板実装・組立

有限会社アオキ電機	075-604-5990
天野電器株式会社	0774-22-5925

有限会社エスパー	075-611-4441
株式会社小野電子工業	075-861-4025
有限会社川上電器	075-956-2800
岸本電器株式会社	0774-54-1151
ケンシン電子工業株式会社	075-982-8205
有限会社坂口興産	0774-32-0227
有限会社塩崎電子製作所	0774-24-6859
テイ・ワイ・エス電機株式会社	075-312-1880
西村技研	0774-24-1871
山本電子株式会社	0771-22-4077
有限会社西和精工	075-691-6964

### 機械・工具販売

株式会社フクトミ産業	0729-92-5012
ヨシマツ商店	075-661-8886

### 機械配線・ハーネス加工

倉屋電機	075-622-6397
有限会社三星製作所	0771-26-3556
有限会社信和製作所	0774-55-1557
スクラム	0774-22-5864

【お問い合わせ先】

京都府電子機器工業会(事務局)

TEL:0774-32-0227 FAX:0774-32-5859((有)坂口興産内)  
http://www.joho-kyoto.or.jp/~kyodenko/